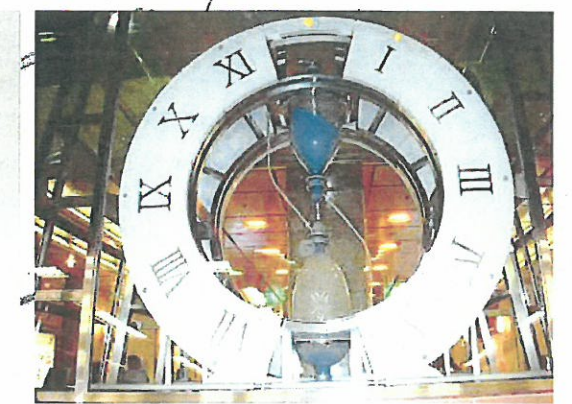
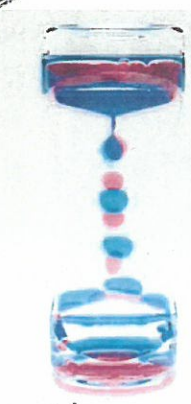
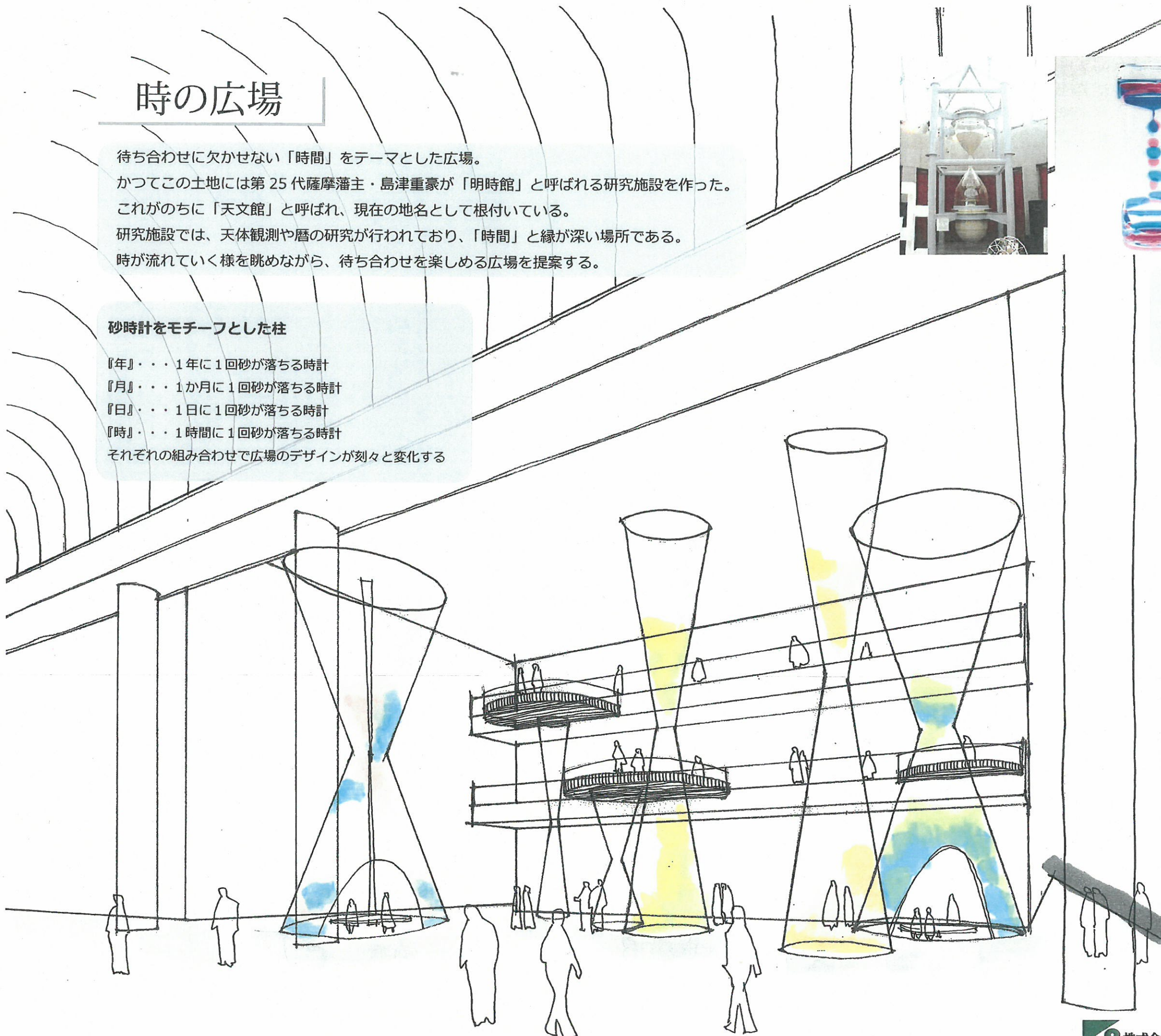


# 時の広場

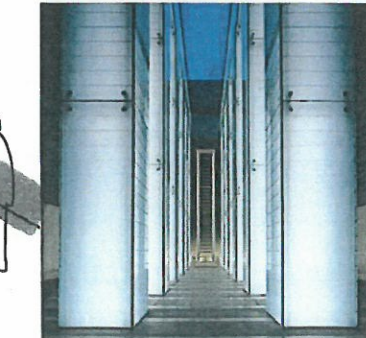
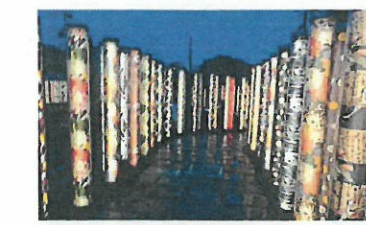
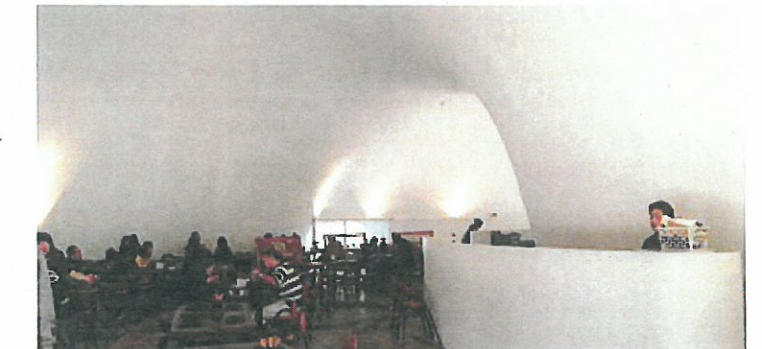
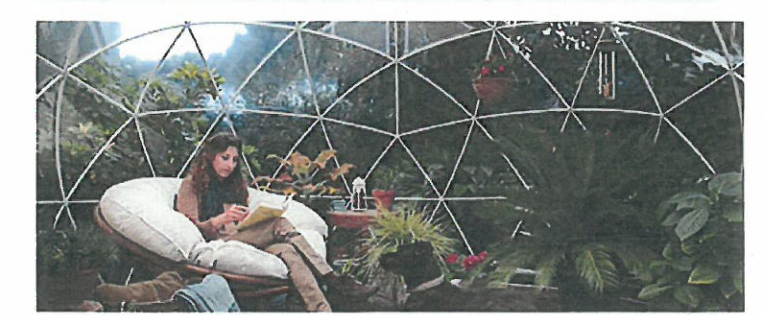
待ち合わせに欠かせない「時間」をテーマとした広場。  
 かつてこの土地には第25代薩摩藩主・島津重豪が「明時館」と呼ばれる研究施設を作った。  
 これがのちに「天文館」と呼ばれ、現在の地名として根付いている。  
 研究施設では、天体観測や暦の研究が行われており、「時間」と縁が深い場所である。  
 時が流れていく様を眺めながら、待ち合わせを楽しめる広場を提案する。

## 砂時計をモチーフとした柱

『年』・・・1年に1回砂が落ちる時計  
 『月』・・・1か月に1回砂が落ちる時計  
 『日』・・・1日に1回砂が落ちる時計  
 『時』・・・1時間に1回砂が落ちる時計  
 それぞれの組み合わせで広場のデザインが刻々と変化する



- ・夜間のライトアップ
- ・柱の中に休憩スペースを設置
- ・『年』の柱の砂が全部落ちるニューイヤーカウントダウンのイベント開催



・街に緑を 建築に夢を・